

“農村の第一線でご活躍されている皆様のための”

第59回 農村医学夏季大学講座

すべての人々に健康を

～認知症とともにによりよく生きる。～

2019 **7/19**(金) — **20**(土)
JA長野厚生連佐久総合病院
農村保健教育ホール

開催要領

- 参加費： 所定の申込み用紙（コピーでも可）送付時に、全額を予め下記支払い方法によりご送金ください。
FAXで申込みされた方は、必ず電話にてご確認ください。
●受講料・・・一般 3,000円（テキスト代・税込） ※一日のみの受講は1,500円
高校生以下1,000円（テキスト代・税込） ※一日のみの受講は500円
●交流会・・・19日2,000円（税込）
●お弁当代・・・昼食（20日）1,000円（税込）
- 支払方法： 申込後下記のいずれかの方法でご入金ください（お支払いの際は、金融機関備え付けの振込用紙をご使用下さい）。
○農協口座—普通預金 6019633：JA 佐久浅間・佐久総合病院支所 / 口座名：佐久総合病院
○銀行口座—普通預金 675：八十二銀行白田支店 / 口座名：佐久総合病院
○郵便振替—口座番号 00550-2-9429 加入者名：農村医学夏季大学事務局
*受講料等の払い戻しは致しませんので、ご都合の悪い場合は、代理の方がご出席ください。
*交流会・お弁当を希望の方は、受講料と一緒に申込みください。
*振込みの際は、ご依頼人名の先頭に「カキダイ(夏季大)」を付けてください。
(例) カキダイ サク タロウ 夏季大 佐久 太郎
- 定員： 400名
- 申込締切日： 7月12日（金）
- 宿泊： 各自、旅館またはホテルに直接連絡し予約をしてください。
なお、会場周辺の旅館、ホテルは以下に示すとおりです。

高速バスのご案内

運行区間	運行	料金	予約センター	時刻表
東京 ↓ 佐久病院	千曲バス	片道 3,100円	佐久 0267-62-0010	佐久総合病院発 6:00 7:30 9:00 17:30
	西武バス	往復 4,900円	東京 03-5910-2525	池袋発 8:50 15:50 17:50 20:10
大阪 ↓ 佐久平駅	千曲バス	片道 9,600円	佐久 0267-62-0010	佐久平駅発 21:03
	近鉄バス	往復 17,300円	近鉄高速/センター 0570-001631	大阪あべの橋駅発 20:20



宿泊のご案内

宿泊予約の際、夏季大学受講である旨をフロント係にお申し出ください。

※特別料金を設定していただいているホテルがありますが、詳細については直接ホテルへお問い合わせください。
※各宿泊ウェブサイトから予約を成立された上で、特別料金への変更はできませんので、予めご了承ください。

ホテル名	7/19(金)宿泊料金(室料のみ)	バス送迎	所在地	電話番号
ホテルゴールデンセンチュリー	シングル(朝食付) 5,650円(税・サービス料込) ツイン(朝食付) 11,000円(税・サービス料込)	なし (自家用車15分)	〒385-0051 佐久市中込 3150-1 中込ハイパス	TEL 0267(63)3355 FAX 0267(63)3366
佐久グランドホテル	シングル 7,200円(税・サービス料込) ツイン 14,000円(税・サービス料込)	なし (自家用車10分)	〒385-0051 佐久市中込 3-19-6	TEL 0267(62)0031 FAX 0267(62)7496
佐久平プラザ 21	シングル(バスルームなし) 7,400円(税・サービス料込) シングル(バスルームあり) 7,800円(税・サービス料込) ツイン 14,000円(税・サービス料込)	なし (自家用車20分)	〒385-0028 佐久市佐久平駅東 2-6	TEL 0267(65)8811 FAX 0267(65)8842
ホテルルートインコート佐久	シングル 5,900円(税・サービス料込) ツイン 11,500円(税・サービス料込)	なし (自家用車10分)	〒385-0055 佐久市三塚 126-1	TEL 0267(64)8811 FAX 0267(64)8812
東横イン佐久平駅浅間口	シングル 6,400円(税・サービス料込) ツイン 9,400円(税・サービス料込)	なし (自家用車25分)	〒385-0027 佐久市佐久平北 1-1	TEL 0267(66)1045 FAX 0267(66)1044

旅館名	7/19(金)宿泊料金(1泊2食付)	バス送迎	所在地	電話番号
清集館	8,000円(税・サービス料込)	あり (徒歩10分)	〒384-0301 佐久市白田 2138	TEL 0267(82)2027 FAX 0267(82)7270

申込み方法・問合せ・連絡先

- ◆所定の申込書または佐久総合病院のホームページから申込んでください(コピーでも可)。
- ◆受講票、領収書は事前に発行いたしません。受講当日、会場受付にてお渡しいたします。
- ◆申込み・問い合わせ先：佐久総合病院 第59回農村医学夏季大学講座事務局

事務局 第59回農村医学夏季大学講座事務局
長野県佐久市白田197 佐久総合病院内
(直通) TEL 0267-82-2677
FAX 0267-82-7034
<http://www.sakuhp.or.jp/>

■主催：JA長野厚生連/JA長野県組合長会/JA長野中央会/JA長野信連/JA全農長野/JA共済連長野/JA長野健保
■後援：JA全厚連/日本農村医学会/日本成人病予防会/日本農村医学研究会/長野県/信濃毎日新聞社/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/abn長野朝日放送/NHK長野放送局/佐久医師会/佐久市/小海町/佐久穂町/川上村/南牧村/南相木村/北相木村





長野県厚生農業協同組合連合会
代表理事理事長

社 浦 康 三

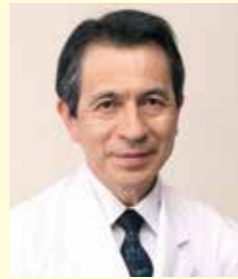
今年「農村医学夏季大学講座」は第59回を迎えました。これまでの長い歴史の中では、時代に即したテーマをその都度取り上げ、私たちの地域が抱える様々な課題について真正面から向き合ってまいりました。

今年は昨年に引き続き「すべての人々に健康を」をメインテーマに掲げ、サブテーマには“認知症とともにによりよく生きる。”と致しました。厚労省の推計によれば、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、認知症患者数は700万人前後に達し、65歳以上の約5人に1人を占める見込みです。

このため、政府は昨年、認知症施策推進関係会議を発足させ、現行の「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」に代わる新たな指針として「認知症対策大綱」の原案を策定しました。また今年4月には官民一体となる「日本認知症官民協議会」が発足し、認知症になっても住み慣れた地域で普通に暮らせる社会「認知症バリアフリー社会」の実現を目指して、取り組みを一層強化することとなりました。

認知症になっても住み慣れた地域で最後まで自分らしく生活していける社会、誰にでもやさしい地域共生社会の構築に向けて「自分ごと」であり誰もがかかわることで、私たちが真に望む地域づくりをどう進めていくか皆で考えましょう。

信州の盛夏にふさわしい、熱い議論ができますことを大いに期待いたします。開催にあたり、第一線でご活躍の講師の皆様並びにご支援を賜りました関係の皆様にも厚く御礼を申し上げます。



佐久総合病院
統括院長

伊 澤 敏

今年5月、政府は認知症大綱の原案を発表しました。予防に重点を置き、数値目標を掲げて有病率を下げるというのが一つの目標になっています。背景には医療費を抑制したい思惑があります。報道のあった翌日、新聞にはさっそく次のような川柳が載りました。「認知症自己責任と言われそう」

仕事柄、認知症と診断された方やその疑いのある方を診る機会は少なくありません。人は皆年齢が上がるにつれて、体の働きは衰えます。認知機能をつかさどる脳も身体機能と同様に衰えます。これは避けられないことです。確かに予防によって、その衰えのスピードをいくらか遅くできるかもしれませんが。

しかし、どんなに頑張っても若い時と同じ体力・機能を維持することはできません。また、努力していても、若いうちから身体機能や認知機能が衰える方もいます。ですから、対策は身体的・認知的能力が衰えたとしても、本人もご家族も元気でいられることに重点をおくべきなのです。

認知症の問題は誰にとっても他人事ではありません。今年の夏季大学講座では、一流の講師陣に加え、認知症の当事者の方にもおいでいただき、お話をお聞きます。

討論を通じて、皆さまの理解が深められることを期待申し上げます。私からの挨拶と致します。

第59回 農村医学夏季大学講座プログラム

1日目 7月19日(金) 12:00～

時刻	テーマ	講師
12:00～	受付	
12:45～	開講式	
13:00 ～ 14:10	<p>【講演】 「認知症」の社会は どこまで来たのか ～メディアでどう伝え、 社会はどう受け止めたのか～</p> <p>この国の超高齢社会はこれからどうなっていくのか、高齢化に伴って認知症の増大する社会を私たちは、不安と怯えの中にしか描けないのでしょうか。「認知症」はすでに、認知症の枠内で語ることはできず、それぞれの認知症観と地域社会のあり方の再定義が必要です。メディアが伝えてきたここ10年余りの流れの中で、医療、介護、家族、当事者、社会へとリレーされるように手渡されてきた「認知症のバトン」を辿ります。</p>	<p>福祉ジャーナリスト (元NHK福祉ネットワークキャスター) 町永 俊雄 氏</p>
14:10～14:30	休憩	
14:30～15:00	若月賞授賞式	
15:00 ～ 16:00	<p>【若月賞受賞講演】 医学的に隠された水俣病被害の実態を 明らかにしてきた49年間の取り組み</p> <p>1956年公式確認された水俣「奇」病は1959年熊本大学医学部研究班によって、「原因はある種の有機水銀化合物」とされた。その後、水俣病は「1953年に発生し、1960年に終息」、「患者数111人で過去の病気」とされた。しかし、それは汚染の一部であった。1968年9月の政府の公害病認定後、私は1970年より被害の実態を明らかにする活動に従事してきた。現在、行政認定患者2,282人を含む約7万人の被害者が救済されたが、汚染の全貌はまだ明らかにされていない。</p>	<p>水俣病訴訟支援・ 公害をなくする県民会議 医師団団長 藤野 紘 氏</p>
16:00～16:20	休憩	
16:20 ～ 17:20	<p>【若月賞受賞講演】 過疎地での医療展開と被災後の 医療の復旧、超高齢社会への対応</p> <p>医師不足の中、病院の役割を見極め、超高齢社会を乗り越えるための医療の提供を模索しつつ改善途上にあった病院が、平成23年3月11日病院の全機能を失い陸前高田市の医療が完全に消滅した。日本中、世界中の支援を受けて約1年で機能を回復した。今後の超高齢社会に向け、健康寿命をのばすために医療介護職だけでなく住民も巻き込んだ活動が始まっている。</p>	<p>陸前高田市国民健康保険 二又診療所所長 石木 幹人 氏</p>
17:40～19:10	交流会 自由参加	

メインテーマ

すべての人々に健康を ～認知症とともにによりよく生きる。～

2日目 7月20日(土) 8:30～

時刻	テーマ	講師
8:30～	受付	
9:00 ～ 10:10	<p>【講演】 DFCとはなにか ～RBAの視点から～</p> <p>80年代末から国連の開発分野で登場した権利ベースのアプローチ(Rights Based Approach, RBA)は、本人が自らの権利に気づき、本来の力を発揮しながら人生を再構築できるように(エンパワメント)、本人との対話や交流を重ねながら環境を調整する(合理的配慮)という二つのことを、周囲の責任として求める。このRBAの視点からDementia Friendly Community DFCは「認知症の本人が市民として参画し、貢献することが権利として大切にされ、推進される地域社会」と定義できる。</p>	<p>清山会医療福祉グループ代表 いずみの杜診療所医師 山崎 英樹 氏</p>
10:10～10:30	休憩	
10:30 ～ 11:40	<p>【講演】 希望と尊厳をもって暮らせる 社会をめざして</p> <p>世界最高水準の長寿国であるわが国では、認知症や障害とともに超高齢期を生きるのは特別なことではありません。一方、社会の状況を見ると、社会の中で孤立し、経済的に困窮し、必要な生活支援にたどりつけない高齢者も数多くいます。認知症の有無に関わらず、障害の有無に関わらず、希望と尊厳をもって暮らせるようにするにはどうすればよいのか、そのような目標を定めて進めている研究や活動について報告します。</p>	<p>地方独立行政法人 東京都健康 長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 研究部長 栗田 主一 氏</p>
11:40～12:30	昼食	
12:30 ～ 15:00	<p>【シンポジウム】 すべての人々に健康を ～認知症とともにによりよく生きる。～</p>	<p>清山会医療福祉グループ代表 いずみの杜診療所医師 山崎 英樹 氏 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療 センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム研究部長 栗田 主一 氏 オレンジサロンhinatabocco 代表 春原 治子 氏 社会福祉法人ジェイエー長野会教育顧問・ 特別養護老人ホーム ローマンうえだ 櫻井 記子 氏 特定非営利活動法人のぞみ 宅老所のぞみ 代表理事 伝田 景光 氏 社会福祉法人 名古屋社会福祉協議会 名古屋市認知症相談支援センター 若年性認知症相談支援コーディネーター 鬼頭 史樹 氏 司会 福祉ジャーナリスト (元NHK福祉ネットワークキャスター) 町永 俊雄 氏 司会 佐久総合病院 診療部長 北澤 彰浩 氏</p>
15:00～15:30	閉講式	